【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | JR鳳駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成15年度（2003年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成15年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○第1次抽出地区で基本構想未策定の地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）28,920人⇒（平成30年度）37,696人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、6つの支所区域のうち「西地域」に含まれ、鳳駅は西支所最寄駅となっている。  ・本地区は、西区域の地域生活拠点としてふさわしい都市機能の集積を図る地区として位置付けられている。  ・本地区の南部では、都市再生緊急整備地域の指定（堺鳳駅南地域）を受け、公共施設等の整備に取り組んでいる。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  0.8㎞（うち、未整備区間0.1㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・駅構内・構外におけるエレベーターが未整備である。  ○バスターミナル  ・視覚障害者用誘導ブロックが未整備である。  ○道路  ・歩道が設置されている区間は主に大阪和泉泉南線であり、段差解消、幅員確保等の改良が必要である。  ・歩道未整備の区間における放置自転車、駐車車両の削減等による歩行空間の確保が必要である。  ○信号・交差点  ・特定経路等における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全確保の検討が必要である。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・平成20（2008）年　東急車輛製造大阪製作所跡地に「アリオ鳳」開業  ・令和元（2019）年　駅前バスターミナルの供用開始 |